

科目名	認知心理学特講	担当者	キムラ アツシ 木村 敦	期間	通年	単位数	4
-----	---------	-----	-----------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	<p>認知心理学の概念、理論などの基礎的事項の学習とともに、知覚・認知と感性、デザインとの関連について学ぶことで以下の能力を身につける。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 経験や学修から得られた豊かな知識と教養に基づいて、自己の高い倫理観を倫理的な課題に適切に適用することができる。 2. 仮説に基づく課題や問題を提示し、客観的な情報に基づく論理的・批判的な考察を通じて、課題に対し、具体的かつ論理整合的な見解を示すとともに、その限界を認識することができる。創造力と独自性をもって問題解決の方法と手順を立案し、独力または他者と協働して問題を解決することができる。 		
到達目標	<p>【一般目標 (GIO)】 認知心理学の基礎的な研究成果をその研究法とあわせて学ぶことで、社会科学に関する豊かな知識と教養を修得するとともに、論理的批判的思考力を身につける。また、認知心理学と感性やデザインとの関連に関する理論や事例について学修することで、問題発見・解決力を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 SB01 人の認知機能の特性や限界について、認知心理学の観点から妥当な論拠に基づいて説明することができる。(知識・解釈) SB02 日常生活の中で使用する製品・システム等のユーザビリティについて、認知心理学的見地から妥当な考察や改善案を論じることができる。(態度, 知識・問題解決)</p>		
学修方略 (方法)	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 manaba folio を利用したインタラクティブな添削指導を実施します。</p> <p>【学修方略 (LS) と学修時間】 基本教材を熟読し、不明な点は参考図書等を利用して理解を深める【25 時間/レポート 1 本】。基本教材の内容を理解した上でレポート初稿を作成する【10 時間/レポート 1 本】。初稿提出後、担当教員とのやり取り、加筆修正を経て、レポート最終稿を完成させる【10 時間/レポート 1 本】。</p>		
スケジュール	<p>【基本教材 1】レポート課題 1 は 7 月 20 日、課題 2 は 8 月 20 日までに初稿を提出し、それぞれ担当教員のコメントに基づいて修正し、最終稿を学事歴で定められた日までに提出してください。</p> <p>【基本教材 2】レポート課題 1 は 11 月 20 日、課題 2 は 12 月 20 日までに初稿を提出し、それぞれ担当教員のコメントに基づいて修正し、最終稿を学事歴で定められた日までに提出してください。</p>		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	70%	初稿および最終稿について、内容の妥当性、客観性、独創性、完成度の観点から総合的に評価する。
	観察記録	30%	最終稿提出に至るまでの添削指導への参加状況を総合的に評価する。
履修者への要望	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当科目のレポートは、手書きではなく Word で作成します。各課題の具体的な作成要領については、履修後登録後にテンプレート (Word 形式) を提示しますので、それに沿って作成してください。 ・ レポートについて、最終稿のみならず初稿の提出期限も厳守してください。提出期限後に提出した場合、十分な添削指導が行えない場合があります。 		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	著者名： 森敏明・井上毅・松井孝雄（著） 教材名： 『グラフィック認知心理学』（サイエンス社，1995年） ISBN 4-7819-0776-8 2,400円＋税
	認知心理学を俯瞰するための基本的な内容が，具体的な研究結果や図表を多く用いて解説されています。1995年発行であり認知心理学の知識として古典的な内容が多い部分もありますが，認知心理学の基盤となる研究例や知識を学ぶ上で適した著書であることから，教材に指定しました。
参考図書	箱田裕司・都築誉史・川畑秀明・萩原滋『認知心理学』（有斐閣，2010年） ISBN 978-4-641-05374-8 3,400円＋税
履修上のポイント	人間の認知機能について幅広く基礎的知識を修得するとともに，人間の理解における認知的アプローチや具体的な研究手法を把握するための課題です。まずは教材全体を一通り読み，不明な点は参考図書等を利用して理解するようにしてください。
レポート課題 1	教材第1章から第6章の各章について，それぞれ800～1,200字程度で要約してください。最後に，この範囲で最も興味をもった認知心理学の概念を1つ取り上げて概説するとともに，それを知ることが日常生活や自身の専門・キャリアにどう役立てられるかについて，具体例を挙げながら論じてください（800～1,200字程度）。 留意点： 要約について，教材等にある文章を切り貼りしたような内容は評価対象外です。理解度を把握するための課題ですので，内容を十分に理解した上で，自分の言葉でまとめてください。
レポート課題 2	教材第7章から第12章の各章について，それぞれ800～1,200字程度で要約してください。最後に，この範囲で最も興味をもった認知心理学の概念を1つ取り上げて概説するとともに，それを知ることが日常生活や自身の専門・キャリアにどう役立てられるかについて，具体例を挙げながら論じてください（800～1,200字程度）。 留意点： 要約について，教材等にある文章を切り貼りしたような内容は評価対象外です。理解度を把握するための課題ですので，内容を十分に理解した上で，自分の言葉でまとめてください。

基本教材 2	
教材の概要	著者名： Jeff Johnson [著] 武舎広幸・武舎るみ [訳] 教材名： 『UI デザインの心理学： わかりやすさ・使いやすさの法則』（インプレス，2015年） ISBN 978-4-8443-3771-3 3,200円＋税
	認知機能の観点からUIデザインを論じた著作です。章構成が認知機能を基準になされていることやカラー図が多いことから，認知機能とデザインの間を理解するための導入書として適していると考え，教材に指定しました。
参考図書	(1) 三浦佳世・河原純一郎 編著『美しさと魅力の心理』（ミネルヴァ書房，2019） ISBN 978-4-623-08659-7 2,000円＋税 (2) 海保博之・日比野治雄・小山慎一 編『デザインと色彩の心理学』（朝倉書店，2013） ISBN 978-4-254-52683-7 3,400円＋税
履修上のポイント	人間の認知機能を知ることが，製品やシステム，サービスの使いやすさや魅力にどのように役立つかを能動的に考えるための課題です。まずは教材全体を一通り読み，不明な点や発展的に理解したい点は参考図書や，基本教材1の教材・参考図書等を利用して学修してください
レポート課題 1	教材全体を一読した上で，第1章から第14章のうち自身が興味ある章を3つ取り上げ，その各章について，興味を持った理由を200字程度，要約を800～1,200字程度でまとめてください。 留意点： 要約について，教材等にある文章を切り貼りしたような内容は評価対象外です。理解度を把握するための課題ですので，内容を十分に理解した上で，自分の言葉でまとめてください。
レポート課題 2	自身の日常生活や業務の中で，改善が必要と思われる（ミスが多い，使いにくい，継続使用されない）製品・システムを1つ挙げ，現状のデザイン上の問題点を認知機能との関連から論じるとともに，具体的な改善案を提案してください。 留意点： 認知機能とUIの関わりに関する教材を用いた学習（課題1）を通じて，自分自身が生活や業務中で接する製品やシステム・サービスのUIについて能動的に考えるようになることを意図した課題です。そのため，当課題で取り上げる製品・システムデザインは，教材や参考図書，WEBサイト等で紹介されていないような，独自性の高いものを選定するようにしてください。

基本教材 1

第 1 回	当科目の到達目標・学習計画・成績評価方法の理解
第 2 回	基本教材 1 リポート課題についての作成要領の理解・テンプレート確認
第 3 回	基本教材 1 の学修(1) 教材第 01～03 章 (※以降, 参考図書等を用いた学修も適宜行う)
第 4 回	基本教材 1 の学修(2) 教材第 04～06 章
第 5 回	基本教材 1 の学修(3) 教材第 07～09 章
第 6 回	基本教材 1 の学修(4) 教材第 10～12 章
第 7 回	リポート課題 1 (1) 初稿の作成
第 8 回	リポート課題 1 (2) 初稿の作成・提出
第 9 回	リポート課題 1 (3) 添削コメントに基づく最終稿の作成
第 10 回	リポート課題 1 (4) 最終稿の作成・提出
第 11 回	リポート課題 2 (1) 初稿の作成
第 12 回	リポート課題 2 (2) 初稿の作成・提出
第 13 回	リポート課題 2 (3) 添削コメントに基づく最終稿の作成
第 14 回	リポート課題 2 (4) 最終稿の作成・提出
第 15 回	リポートに対するフィードバックを踏まえた学修到達度の確認

基本教材 2

第 1 回	基本教材 2 リポート課題についての作成要領の理解・テンプレート確認
第 2 回	基本教材 2 の学修(1) 教材 Introduction～第 03 章 (※以降, 参考図書等を用いた学修も適宜行う)
第 3 回	基本教材 2 の学修(2) 教材第 04 章～07 章
第 4 回	基本教材 2 の学修(3) 教材第 08 章～11 章
第 5 回	基本教材 2 の学修(4) 教材第 12 章～14 章
第 6 回	認知機能とユーザビリティとの関連からの身の回りのデザイン観察・資料収集
第 7 回	リポート課題 1 (1) 初稿の作成
第 8 回	リポート課題 1 (2) 初稿の作成・提出
第 9 回	リポート課題 1 (3) 添削コメントに基づく最終稿の作成
第 10 回	リポート課題 1 (4) 最終稿の作成・提出
第 11 回	リポート課題 2 (1) 初稿の作成
第 12 回	リポート課題 2 (2) 初稿の作成・提出
第 13 回	リポート課題 2 (3) 添削コメントに基づく最終稿の作成
第 14 回	リポート課題 2 (4) 最終稿の作成・提出
第 15 回	リポートに対するフィードバックを踏まえた学修到達度の確認